中国地方加え

50年度 信州地区は飽和状態

希望コースを調査

＝近修委で＝

【大阪】近畿修学旅行委員会（久保田八郎委員長）では昭和五十年度の修学旅行希望目的地の調査を行うことになった。近畿地区はさいさん緑の自然を求めて信州方面へ出掛ける学校が増えているが、受け入れ態勢に限度があり、これ以上になると、とうてい収容ができなくなるため、同委員会では五十年度に山陽新幹線の博多まで延長されるのを機に、新たに中国方面コースを設け、関東、信州と合わせて三本建てとし、そのなかから希望コースを選んでもらおうというもの。

近畿地区から信州方面へ行く中学校はしだいに増え、四十八年度が約七万八千名、四十九年度は約九万名とウナギのぼりの傾向にあるが、バスや旅館の手当てがすでに飽和点に達しており、これ以上になると実施不可能のおそれも出てきた。

同委員会ではその打開策の一つとして、五十年度に新幹線が博多まで延長されるのを機会に、新たに広島、山口などをふくむ中国コースを加えることに踏み切った。

各中学校に対して関東、信州、中国のうち希望するコースを決めて九月十四日までに回答するよう求め、これによって国鉄に対し各列車の運転を交渉する。アンケートの要項は次の通り。

▽関東コース

二泊三日。往復新幹線の同一列車を利用し、列車は従来通りA、A1、B、B1の四種類。（各列車のダイヤはだいたい四十九年度と同じ）

▽信州コース

（A）三泊四日。往路＝大阪発八・一〇ごろ。長野着一七・一〇ごろ。復路＝長野発一一・四三ごろ。大阪着六・五二ごろ。

（B）三泊四日。往路＝大阪発九・三一ごろ。松本着一六・二〇ごろ。復路＝松本発一二・一五ごろ。大阪着五・五九ごろ。

（C）二泊三日。往復とも新幹線Aまたは A1列車を利用（いまの方式は五十年度は実施しない）

なお、A、Bコースとも往復集約列車で、Bコースは長野まで延長できるよう国鉄へ交渉中。

▽中国コース

二泊三日。往復新幹線を利用。ダイヤは未定だが、新大阪が始発駅。往路新大阪発一〇・三〇ごろ。復路新大阪着一六・〇〇ごろを予定し、広島以遠の乗降となる。広島、博多間の停車駅は新岩国、徳山、小郡、下関、小倉である。

【コースの例】

（イ）第一日　新大阪―下関―萩―秋芳洞―湯田泊。第二日　湯田―岩国―宮島口―宮島泊。第三日　宮島口―広島―新大阪。

（ロ）第一日　新大阪―広島―宮島口―宮島泊。第二日　宮島口―岩国―秋芳洞―湯田泊。第三日　湯田―萩―青海島―下関―新大阪。

回答の送り先きは大阪府（大阪市以外）京都府（京都市以外）兵庫県（神戸市以外）奈良県、滋賀県は大阪市東区大川町淀屋橋南詰近鉄ビル内近畿二府四県修学旅行委員会。大阪市＝大阪市西区千代崎町三―二―七・西中学校長納本典男、京都市＝京都市南区西九条大国町・洛南中学校長楓三郎、神戸市＝神戸市灘区長峰台二―二―一。長峰中学校長島津富治の諸氏あて。

静岡のフィールド・ワーク

（1）

新教材を授業に活用

岩橋　徹

岩橋　徹氏

財団法人・全国修学旅行研究協会から、フィールド・ワークとはどのようなものか、その解説を執筆するよう依頼された。この行事については、長年てがけられてきたベテランの方々もおられるのでこの方々を差し置いて筆をとることをためらったのであるが、折角の名指しでもあったし、ベテランにはない何かがかもしだせるかもしれないと考えて、あえてこの原稿をお引き受けすることにした。

『フィールド・ワーク』という行事は、当初は静岡県出版文化会・静岡県教職員互助組合・静岡県教育会館・静岡教育出版社の主催、および静岡県教育委員会・静岡県校長会・静岡県高等学校長会・静岡県教職員組合・静岡県高等学校教職員組合の後援で行なわれてきたが、昨年より東海大学海洋学部が主催団体として加えられた。

参加者は県下の小・中・高校の教師から募られているが、毎年募集定員をはるかに上回る熱心な応募者と、主催者側のサービス精神にささえられて、昭和三十八年発足以来現在まで、昭和四十五年の一回を除き、この行事は十年間もつづけられている。

当初からは文学・歴史・地学の三コース（定員各五十名）で始められたが、昨年から海洋コース（七十名）が新企画として加えられ、参加者総定員は二百二十名に増えている。各コースの旅行計画はそれぞれ専門の研究者と主催者で検討され、事前に現地調査が行なわれ、テキスト（案内書）の原稿が印刷され参加者に配布される。現場の先生方はこの旅行を通して専門の研究に触れることができ、現地中伊豆文学の旅」というテーマで案内された。伊豆は川端康成の「伊豆の踊り子」で象徴されるように、文学者たちの心のふるさと、文学の宝庫である。西伊豆では古い民俗・古芸能など伝承的文化遺産がそのまま保存され、また若山牧水・島木赤彦の歌碑を訪ね、西条八十・高田浪吉・与謝野夫妻の足跡をたどることができた。南伊豆では久保天随・島崎藤村・窪田空穂などの文学、下田ではお吉をめぐる多くの作品にふれることができた。中伊豆では井上靖の生家川端康成の湯本館、北原白秋の落合楼のほか、岡本綺堂・高浜虚子・夏目漱石の碑など訪ねるところが多かった。

今年の夏の文学コースは「駿東と清水・静岡地区の文学」と題して、昨年と同様、岡田教授によって案内された。古い東海道の史蹟とともに文学遺跡をたずね、古代人の旅の困難さや、道中の風景・風俗に対して起こしたであろう感興を想像したり当時の作家の反応を、その文学作品を手がかりに探り、作品がなぜそこに生まれたかが解説された。

昨年の若林敬之教授による歴史コースは「富士と箱根の人と生活」。富士と箱根の自然と深く結ばれた人びとの歴史と文化から、自然の猛威に畏怖しながら敢然と戦ってきた人間の知恵の素晴しさを探り、鎌倉新仏教の士との結びつきを見ることができた。主な見学場所は瑞林寺と雁堤・岩本山実相寺・本照寺・浅間神社・大石寺・深沢城・竹ノ下古戦場跡・箱根権現・関所跡・山中城跡・三島大社。

ことしの地学コースの２日目、富士火山旧期溶岩（芝川溶岩）と柱状節理の見学風景（富士川町南松野で）

今年の夏の歴史コースのテーマは「伊豆の歴史と文化」。開国的代官江川担庵の支配地であったこともあって、伊豆は幕末・期日本外交の中心であった。日本にはじめておかれた領事館、プチャーチンの来航とその乗船の沈没によってつたえられた洋式造船技術をつたえる戸田郷土博物館、松崎の入江長八のしっくい芸術をつたえる記念館など日本の開国と伊豆の果した役割を理解し、伊豆でくりひろげられた人びとの生きるための歩みを知る多くの史蹟を探訪した。

海洋コースは、昨年は「駿河湾の総合海洋調査」、本年は「駿河湾から三宅島までの海洋調査」ということで、東海大学の実習船「望星丸」一、一〇三トンが利用された。航海の途上で海洋物理（透明度・測温・海流測定）、海洋化学（採水・塩分・酸素濃度測定）、海洋生物（プランクトンネットによる生物相分布・標本採集）、海洋地質（海底地形・地質・地質構造の探査）のほか、海上気象・波浪観測・航海・航法・海上保安など盛り沢山の観測・実験・実習が行なわれた。これを通して駿河湾の生いたち・構造・黒潮と生物との関係、海洋汚染などの問題が考えられた。（つづく）＝静岡大学教授＝

郷土の玩具

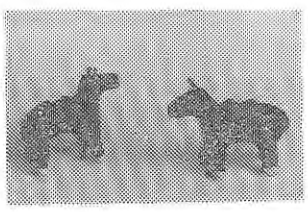
木彫りから練りものへ

吉良の赤馬

☆…愛知県西尾市では古くから土の人形や練りものがさかんに作られていたが、今ではわずかに練りものだけ、しかも〝赤馬〟だけしか残っていない。これも尾張三河の有志たちによって復活した。その作品は昔のものと同じながらうれしい。

☆…がんらい、馬ものには赤、白と、吉良の殿さま馬との三種るいあり、赤と白の馬は手でひねった簡単なもの。一時は赤い馬だけ作られたため吉良の赤馬といわれたけれども、白馬のほうがよいのだともいう。

☆…元禄のころ、吉良の領主・義央公は産業振興に努力を重ねた。毎年の水害を防ぐために〝黄金堤〟を築いたが視察にあたっては愛馬の赤馬にのられた。偉風堂々、しかもやさしい心情に人々は涙を流したそうだ。そしてその馬を、いつか赤馬と呼ぶようになった。領内の村人が木彫りにしたのが始まり。いらい練りものの型ぬき玩具とし流布された。（資料・中央研修部）

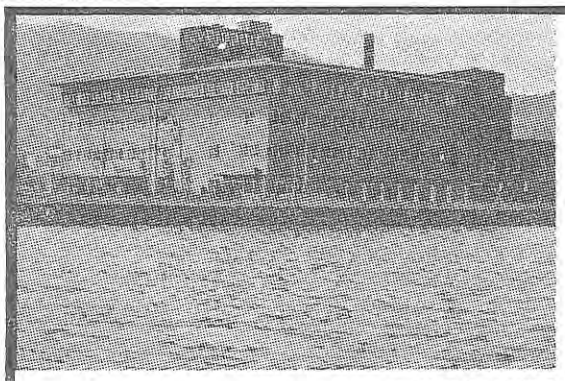


科学技術館で入館料を改訂

来年四月から実施

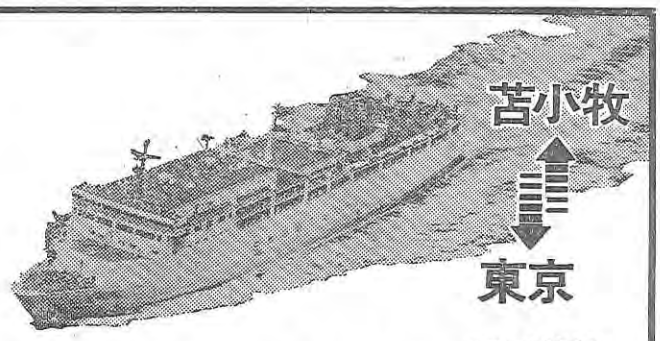
科学技術館（財団法人科学技術振興財団・東京都千代田区北の丸公園）は来年、開館十年目を迎えるが、現在までの入館者は約六百万人に達し、わが国の科学技術知識の普及に大きな貢献をしている。同館では展示品の製作・更新が多額の費用を要し、さらに内容を充実させるため現行の修学旅行団体などの入館料を次の通り改訂来年四月一日から実施する。

▼団体入館料（二十名以上）大学・高校・各種学校＝百十円。中学生＝九十円。小学生＝八十円。



いらっしゃいませ
国定公園
近江路の旅へ
収容　８００名様
食堂　５５０名様
浴場　１５０名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目1－4　電話　大津(0775)24－2321

若い時の思い出に
30時間の楽しい旅



毎日就航
日本沿海フェリー
本社／東京都港区新橋1・10・7（大和銀行新橋ビル）☎(03)573・1911
札幌支店／札幌市中央区南大通り西10・4（高橋ビル）☎(011)261・6321

文化

豊かな海との協調

沖縄国際海洋博覧会

〝海―その望ましい未来〟のメーン・テーマをかかげて昭和五十年三月二日から同八月三十一日まで、みどりの亜熱帯の島・沖縄で世界初めて開かれる海洋博。世界各国が参加、それぞれの海洋開発の成果や壮大な未来への構想を展示するほか、新しい沖縄の振興にも大きな貢献をもたらすものと注目されよう。すでにホテルなどの建設はすすみ、海空の輸送面も万全を期している。

沖縄国際海洋博の特徴は、その会場構成にあたって採用されたクラスター方式にあるだろう。このクラスターとはブドウの房のような、かたまりをいうのだが、主幹線からテーマごとに分類された展示場の群を本部（もとぶ）半島のなかに配置しようとするもの。

大阪の万国博では会場内に林立した建物のために混雑をきたし、いたずらに観客の疲労を誘ったし、また、こんどの海洋博でも自然を破壊し、美しい海を汚すことにもなりかねないので、従来の博覧会形式から脱脚、新しい方式をとった。したがってクラスターごとにデザインや色調、音響なども統一り。会場全体の中での調和をはかろうというものだ。

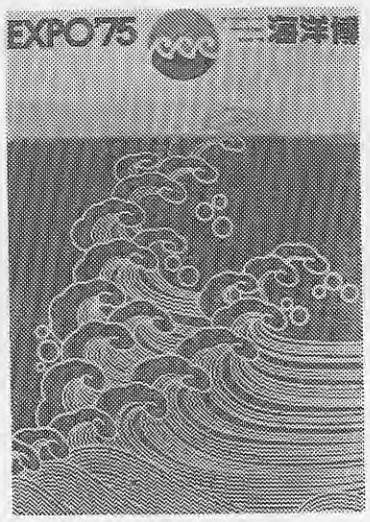
陸上部が七十五㌶、海上を含めた約百㌶の会場に四つのクラスター。また、四百㌶沖合いに直径百二十㍍の人工島〝アクスポリス〟（海上都市）も設けられる。

【船のクラスター】会場の南端に設けられるこの船のクラスターは海の冒険園と船舶の発達をテーマとする展示館。コロンブスのアメリカ発見のとき使ったサンタ・マリア号をはじめ、十六世紀ベネチアの大型カレー船、バイキング・シップなどの模型や遺品、さらにオスロの博物館から運ばれたバルス製のイカダ舟「コンチキ号」のほか、歴史・文化的に価値の高い船舶るいも公開される。

【科学・技術のクラスター】海洋の産業と開発・科学・環境保全などの展示館が並ぶ。英知の結晶ともいうべき原子力潜水タンカーカプセル型救命脱出装置、無人海底作業車など一驚するものばかり。

【民俗・歴史のクラスター】北ゲートわきにある。海と人間との交流がここではっきりと浮き彫りにされており、深い興味をそそることだろう。トンガ王国に伝わるタコ釣り漁、マーシャル群島現住民の木の技で画いた海図など、海とともに生きる人々の生活を展示する。

【魚のクラスター】会場北端にある「魚のクラスター」内の水族館には黒潮の海、深層の海、観潮の海、魚の劇場、エコロジー水槽など、熱帯から亜熱帯にかけてのいろいろな水槽がある。海獣園ではイルカやジュゴン（人魚）、アシカのコミック・ショウも見られよう。戸外に出るとそこはエキスポ・ビーチで、海水浴やボート遊びが楽しめる。



できあがった沖縄国際海洋博のポスター。

〝〝〝〝〝バイコロジー

☆自動車の排気ガスや、騒音に悩むアメリカから〝バイコロジー運動〟がやってきたと思ったら、アッという間に日本でもブーム。正確な〝人口〟は日本サイクリング協会でもつかめないが、変速機つき自転車の年間生産量約五百万台や、年間の自転車小売販売額約一千四百億円などからおして内輪にみても一千万人近いサイクリストがいると推定されている。

☆バイコロジーという言葉は、公害のない自転車で人間性を取りもどし、環境汚染を防止しようと、バイシクル（自転車）と、エコロジー（環境生態学）を組み合せたものでアメリカ産。新語づくりのうまい日本では一歩すすんで〝アルコロジー〟という事もできる仕組み。

☆いま、日本にある自転車専用道は三千七百㌔ぐらいだが、昭和六十年ごろまでには三万四千㌔にしようという計画もすすんでいるとのこと。そこで、さいきん、各駅前に自転車を用意し、汽車を降りたら、すぐ自転車で…という旅行方式が生まれた。名づけて〝駅レンタサイクル〟といい、自然に親しむ旅として大受けしている。（国鉄・広報部提供）

〝〝〝〝〝竜宮城の現代版 輝やく五彩の光

海洋博の象徴ともいうべき「アクアポリス」は、会場中央付近にある〝夕陽の広場〟正面の海上に浮かぶ。東京・後楽園球場とほぼ同じ広さだが、ここでは世界各地の海の祭りが披露される。また、海中住居の実態が水中テレビでうつし出され、海中レストランで食事もできる仕組み。

浜辺の広場、夕陽の広場、船出の広場は世界から集まる芸能人の舞台ともなり、とくに夕陽の広場では夕日にはえる水煙が五彩の光を輝やかす。

また各クラスターの周囲は、亜熱帯植物のしげる緑地帯で、美しい海辺のそぞろ歩きができる。

海の無い県に海神社

海人族進出の名残り

―奈良・近鉄沿線に2社も

桑原守也

桑原守也氏

（一）四面 山なす奈良県に 海（かい）神社とは一見奇異を感ずる存在である。しかも二社も鎮座しているのである。

海という字は万葉集の「大和には むら山あれど とりよろう 天の香具山 登り立ち 国見をすれば 国原は 煙立ち立つ 海原は かまめ立ち立つ うまし国ぞ あきづ島 大和の国は」（巻一）の海原は池とか水たまりという意味であろう。

奈良県の地名本では最も権威のある『大和地名 辞典』には「海（ウミ）ノ木（キ）＝上牧村下牧・海尻（カイジリ）＝平野村西竹・海（カイ）ノ上（ウエ）＝川東村法貴・忍海（オオシミ）＝忍海村の四つがあげられている。

これらは今流にいえば、大和の奈良県であって、本稿でとりあげようとする海神社は、江戸期には伊賀藤堂藩の所領であったが、明治八年、郡制実施のとき奈良県山辺郡に属し、同二十二年、市町村制施行により宇陀郡となった室生村の大野と三本松のことである。

……○……

（二）大野の海神社は近鉄大阪線室生口大野駅からいえば駅前の東側に鎮座し、もう一社は隣接の三本松駅、宇陀川の対岸に座す。

↑三本松の海神社本殿。

ついでながら室生は古代語では「ムロ」といい、聖なる地とか、神の鎮まるところとかいう義であり、室生寺は後世、室生なる聖地につくられた寺院である。

（三）大野は、今から約一千二百八十年前、壬申の乱の際、大海人皇子（おおあまのみこ）＝後の天武天皇＝が吉野から津振川（竜門村津風呂）を経て菟田の甘羅（松山町）に至り、妃の鸕野（うの）皇女＝後の持統天皇、草壁皇子、忍壁皇子、供奉、女嬬等三十余人と馬子、猟師その他一行百余人が、日本書紀巻二十八にいう「大野に到りて日落（く）れ」たところである。「山暗くして進行すること能はず、則ち当邑の家のまがきを壊ち取りて燭と為す」とあるが、恐らく宿営の準備もあろう善もなかったが、今でも「御所」という屋号の家（広岡良夫氏宅）もあるように、村をあげて歓待し垣根まで自らこわして松火とする程の接待をしたことであろう。なぜかなれば、この地こそは木津川から宇陀へと遡航してきた海人族が安宿したと考えるからである。

海人族は漁撈、航海の民であったが、時を経るにしたがって他部族に匹敵する力を養ない「海部」と称されるまでになっていたのである。

大海人皇子は大海人が示すように、海人族を乳母として育てられ有力な渡来人に支援されて、天皇の地位を獲得したものであるとされている。

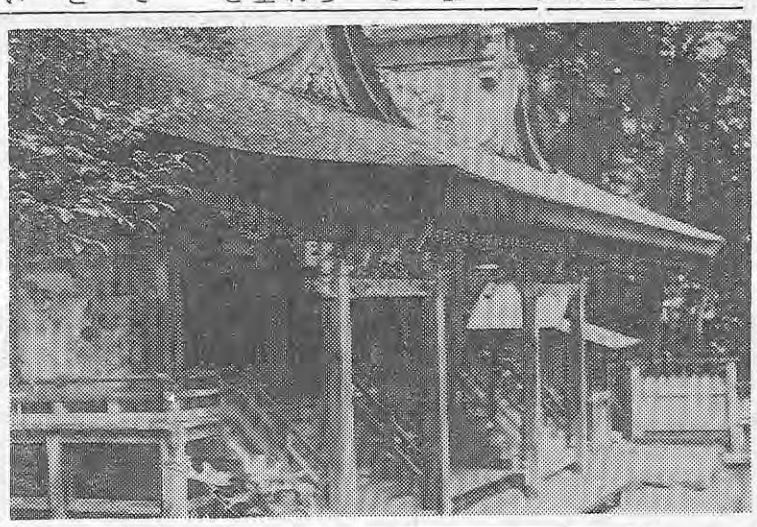
……○……

海人族の遺跡ははっきりとしていない。海部、海草、磯部、安曇、渥美、熟海などの地名がそのなごりを示しているのみである。

海人族は、葬所を神社としているとの推説、あるいは南方的習俗である風葬が墳墓などの遺跡を残さなかったのであろうともいわれている。この二つの海神社の境内はうっそうと繁っているが、木陰からのぞくと二山の中に墳墓が残されているような気配がする。許されるなら発掘調査して臧きたいものだ。

（四）大野の海神社は本殿三間社流造、江戸初期のもの。県の文化財に指定されている。

一見して、各々独立した一間社流造の社殿が屋根のみ共通となっているものである。このように左右連絡の社殿形式としては古い形式を示すものとして宇陀水分神社殿（菟田町）や春日大社（奈良市）があるが、本社殿はこの種の中間的段階にあり、吉野の水分神社（吉野町）手向山八幡宮（奈良市）社殿が後期のものである。境内には江戸末期の石灯籠が散在する。


↑大野の海神社本殿。奈良県文化財指定。

御祭神はいずれも豊玉姫命で、もともと室生竜穴神社の善女竜王を勧請したものと伝承されているが、果してそうであろうか。

いわゆる海にかかわりのない山中の宮が、海神社と名づけられているのが不思議でならない。

三本松の海神社は近鉄大阪線室生口大野駅からいえば駅前の東側に鎮座し、もう一社は隣接の三本松駅、宇陀川の対岸に座す。

（四）大野の海神社は本殿三間社流造、江戸初期のもの。県の文化財に指定されている。

一見して、各々独立した一間社流造の社殿が屋根のみ共通となっているものである。このように左右連絡の社殿形式としては古い形式を示すものとして宇陀水分神社殿（菟田町）や春日大社（奈良市）があるが、本社殿はこの種の中間的段階にあり、吉野の水分神社（吉野町）手向山八幡宮（奈良市）社殿が後期のものである。境

（近畿日本ツーリスト株式会社常務取締役・写真も）

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。
集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された スズカビレッジ
●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞
2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。

昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。
鈴鹿国定公園、国鉄周遊指定地
スズカランド 鈴鹿サーキット
三重県鈴鹿市稲生町
電話＝0593〈78〉1111
株式会社ホリタラブト
本社:
東京都中央区銀座4-2-2 ☎03(535)6251
大阪営業所:
大阪市北区南扇町15 ☎06(313)0841